



電気料金非常事態

沖縄の経済界はエライ！知事も市町村長も議員も商工会議所も皆さん力合わせて政府から電気料金対策資金を引き出しました。これって全国でも沖縄だけの力業だったことを知っていましたか？

電気料金には規制分野と自由化分野があり、政府のコントロールのない自由化料金のほうは4月の高圧業務用で104%!!の値上げという恐ろしいレベルになっています。もちろん日本一。この地域経済への影響に危機意識を持って政府に粘り強く陳情した政財界の皆さんはエライ！世界でも最も高い沖縄の値上げ分をチャラにするほどの補填措置を引き出したのですから。

とは言え、沖縄の特別予算は9月までの時限

措置です。この勝ち取った猶予期間に本物の電気料金高騰対策を準備しなくてはなりません。ここでのんびりしてはいけません。沖縄だけが永久に国の支援で食ってくわけにはいきません。最新技術と仕組みをうまく使い、自分たちで明るい未来を作りましょう。

さて、それでは電気料金対策に何をすれば良いか。省エネ、創エネ、自家消費、さらに新電力への契約変更です。先に新電力の話をする、沖縄はたまたま値上げしたのだから、まだ値上げしない新電力はチャンス。ガスや携帯とのセット料金でも家庭用電気料金はまだ下げられるのです。インターネットで「沖縄の新電力」で検索してみてください。

省エネ行動は空調の温度設定が一番だけど、暑いのは嫌だし身体に悪い。コロナじゃあるまいにあんまり神経質にはなりたくないけれど、ウォシュレットの温水位はお尻に我慢してもらいましょう。LEDにしていなかったところはこの機会に残らず取り替えるべし。7割もの省エネ効果があるのはLEDだけ。沖縄にはまだまだ蛍光管のままのところがたくさんありますよ。1本の蛍光管をLEDに替えると1年で2000円以上の節約になる。頭の上の蛍光管を数えてみてください。2千円、4千円、6千円、8千円、5万円、10万円、100万円…ああ～もったいない!! 役場も学校も病院もそのままにしているけれど、これはみなさんの税金ですよ。

今回は104%値上がりした高圧自由化料金の対策を考えます。今までナマケていた人は蛍光管の数を数えておいてくださいね。

presenter 



電気料金対策、
カーボンニュートラル対策は
あかりみらいへ。

越智 文雄
Fumio Ochi
エネルギーコンサルタント

1957年生まれ。80年より北海道電力・電気事業連合会に勤務。1997年電事連でCOP3に立ち会う。2008年北海道洞爺湖サミット環境総合展事務局長。2012年株式会社あかりみらい起業。全国のカーボンニュートラル対策、完全LED化に取り組む。